石垣市立石垣第二中学校

平成３０年度　公　約

本校の教育目標

人間尊重の精神を基調として、知性を磨き、豊かな心と健康な体をつくる。

～あいさつの二中　文化の二中　スポーツの二中～

重　点　目　標

◯豊かな心の育成

（1）教育活動全体を通じた道徳教育の充実
（2）生徒理解に基づく生徒指導の充実
（3）ルールやマナーを培う部活動の推進

◯確かな学力の向上

（1）授業力の向上による学力向上を図る
（2）学習規律の確立
（3）学力向上推進委員会の充実強化
（4）学力の3要素の育成

◯健やかな体の育成

（1）生活リズムの確立　（2）実践的な安全教育の充実　（3）基礎体力づくりの推進
（4）食育の推進　（5）部活動の推進

校訓　継続は力なり

具体的な取り組み

【学力向上】
(1)たて持ち授業による授業改善
(2)電子黒板の活用
(3)教科会の充実･連携を図る
(4)各種学力調査の活用

【生徒指導】
(1)生徒指導体制の充実(学級経営を基本とした生徒指導の充実)
(2)生徒の「居場所づくり」の推進(目的意識の高揚と夢や希望の育成)
(3)不登校への対応(「小中アシスト相談員の活用」を図る)
(4)教育相談体制の強化(スクールカウンセラー等との連携強化)
(5)家庭･PTA･地域･関係機関との連携強化

【教科等経営】
(1)指導方法の工夫改善(電子黒板、ICT機器の積極的な活用)
(2)表現力･発表力の育成(生徒が発表する時間を計画的に設定)
(3)指導と評価の一体化(各種調査、定期テスト等の活用)
(4)道徳教育の充実(環境教育を取り入れた学力向上に繋げる工夫)
(5)学級経営の充実(居心地のよい学級経営に努める)
(6)特別支援教育の充実
(7)図書館利用指導の推進と読書の習慣化(未読者0へ取組)
(8)各種検定試験(英検･漢検･数検･理検等)への取組強化

【各種調査における目標】

県到達度調査及び全国学力・学習状況調査において、県平均以上を目指す

各チームの主な三本柱の取り組み

授業実践研究部

●主題にせまる教科授業実践
●諸学力調査の取組と活用
●教科会の充実

道徳研究部

●主題にせまる道徳授業実践
●道徳の教材開発と資料収集
●人権教育との連携

調査研究･各領域連携部

●各領域と連携した学力向上の推進
●家庭・地域と連携した学力向上の推進
●諸学力調査の分析・考察

【校内研修】
(1)研究授業の実施(基本5教科の研究授業の実施)
(2)授業研究会の工夫改善(ステレオタイプのワーク型研修会の見直し)
(3)電子黒板の活用方法(全教師が活用できるように研修の充実を図る)
(4)小中連携の推進(研究授業への参観呼びかけ)
(5)地域学習の実施(戦跡巡り、石垣の自然等についての学習会)
(6)宿題の効果的な与え方(学力向上の取り組みの一環として研究)

【キャリア教育の推進】

(1)校内推進体制の確立
①実践を支える「キャリア教育推進委員会」の機能化
②全体計画の作成　③年間指導計画の作成

(2)職場体験学習の充実
①生き方の指導を含めた事前･事後指導の工夫改善
②職場体験の受け入れ事業所の確保
③職場体験時のマナー等の指導及び健康管理、安全確保の配慮

(3)進路指導の工夫改善
①進学指導及び就職指導を含めた進路指導の工夫改善
②3年間を見通した意図的･計画的な進路指導の工夫改善
③「キャリアカウンセリング」を活用した進路指導の工夫改善

(4)生き方教育の推進
①夢や希望を持たせる取り組みの工夫
②学ぶ意義や働く意義を実感させる取り組みの工夫
③「なりたい自分」を広げ「なれる自分」に気付かせる授業の工夫

(5)進路講話の充実
①3年間を見通した進路講話の計画作成
②キャリア教育の視点を踏まえた進路講話の充実
③生き方や進路に関連づけた講話の実施(事前･事後指導を含む)

生徒に自己存在感を！　**生徒に自己決定の場を!**　**教師と生徒の共感的信頼関係の構築を!**